

【証券コード：6728】

決算説明資料

2018年度（FY2018）

第3四半期（累計）（2018年7月～2019年3月）

2019年5月13日

株式会社 アルバック

◆将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるFPD（フラット・パネル・ディスプレイ）・半導体・電子部品などの業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品・原材料などの市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

◆本資料における表示方法について

（特段の記載がない限り、数値はすべて連結ベースです）

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

会計期間の表現：

3Q（累計）： 第3四半期連結累計期間

3Q： 第3四半期連結会計期間

□ 受注高 1,736億円（前年同期比▲11%）

- 半導体メモリ関連の客先投資計画変更等により前年同期比減少も、四半期ベースではFPD製造装置を中心に前年同期比・2Q比ともに回復

□ 売上高 1,689億円（前年同期比▲11%）

- 高水準であった前年同期の売上の反動及び半導体メモリ関連の客先投資計画変更等により前年同期比減少

□ 営業利益 219億円（前年同期比▲26%）

- 売上高減少の影響等により、前年同期比減少

□ 2019年6月期の業績予想を修正

- 3Qに投資有価証券売却益を特別利益として計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益を上方修正

2018年度3Q(累計)連結業績概要

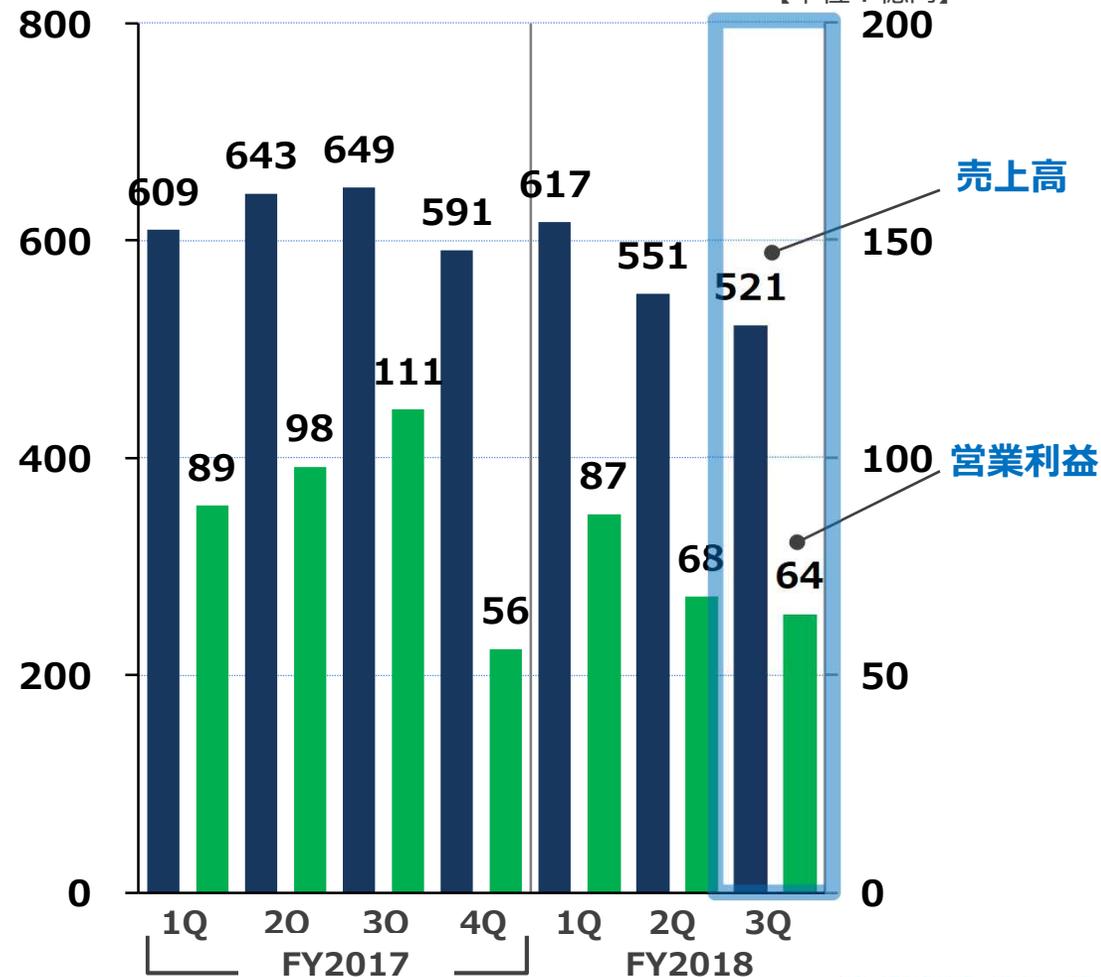
- 受注高：半導体メモリ関連の設備投資延期等の影響により、前年同期比減少
- 売上高：高水準であった前年同期の売上の反動及び半導体メモリ関連の客先投資計画変更等により前年同期比減少
- 営業利益：売上高減少の影響等により、前年同期比減少

【単位：億円】

	2017年度	2018年度	
	3Q (累計) 実績	3Q (累計) 実績	対前年 同期増減率
受注高	1,952	1,736	-11.1%
売上高	1,902	1,689	-11.2%
売上総利益	572	506	-11.7%
率	30.1%	29.9%	- 0.2 pt
販管費	274	286	4.4%
営業利益	298	219	-26.4%
率	15.7%	13.0%	- 2.7 pt
経常利益	311	231	-25.6%
率	16.4%	13.7%	- 2.7 pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	253	173	-31.7%
率	13.3%	10.2%	- 3.1 pt

売上高と営業利益の推移（四半期毎）

【単位：億円】

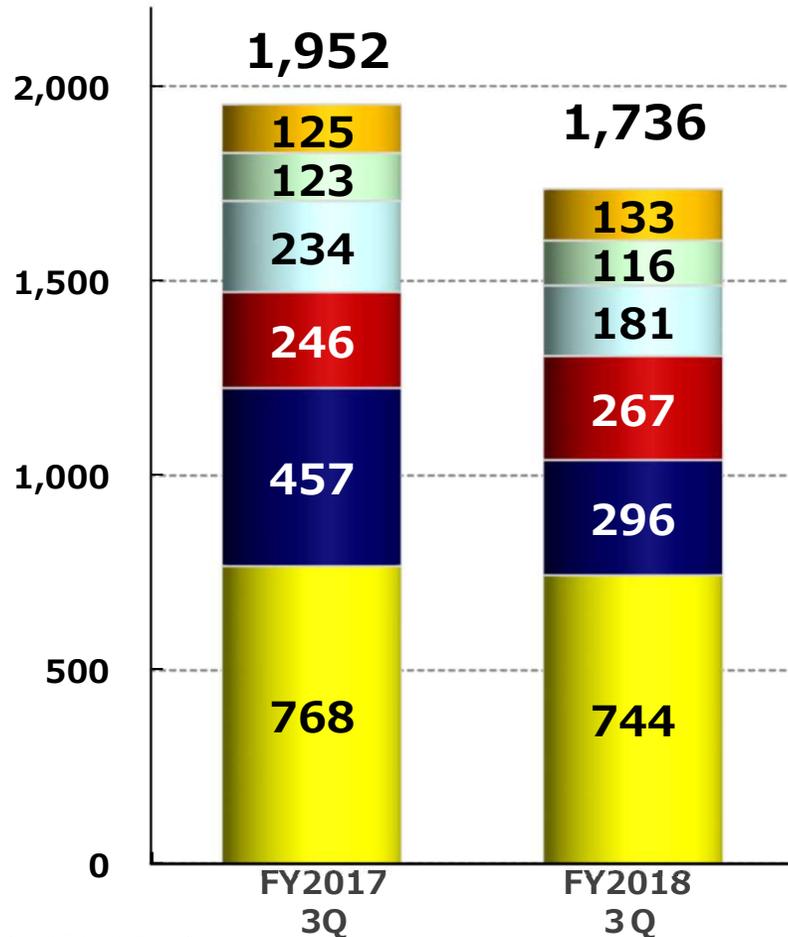


2018年度3Q(累計)連結業績概要 (品目別受注高)

- FPD・PV製造装置：中国向けスマートフォン用OLED製造装置の量産ライン継続受注も寄与し、3Q累計で前年同期並みの水準を維持
- 半導体・電子部品製造装置：半導体メーカーの投資計画延期等の影響で前年同期比減少

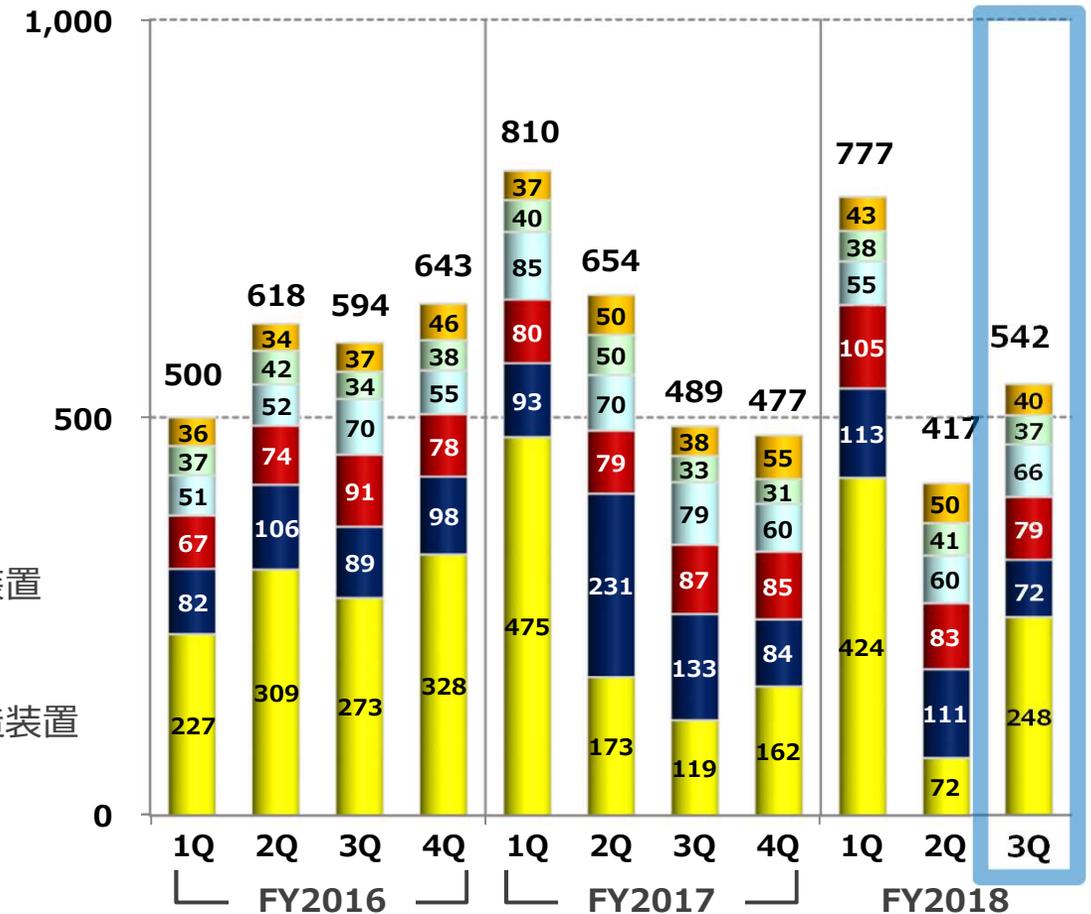
前年同期比

【単位：億円】



四半期推移

【単位：億円】

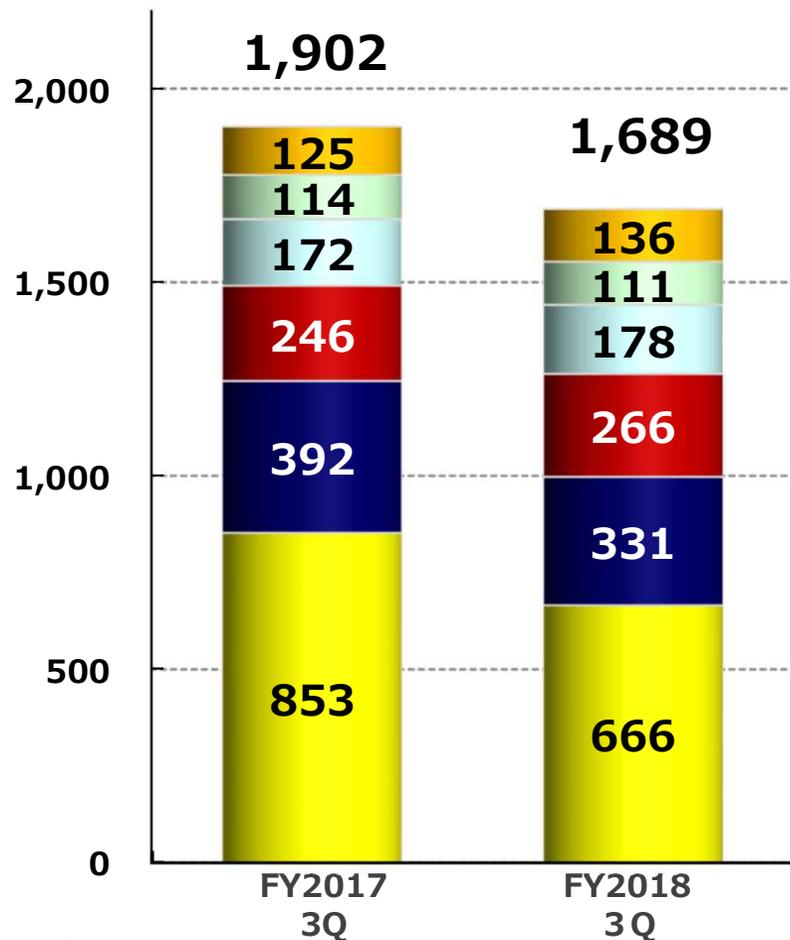


2018年度3Q(累計)連結業績概要 (品目別売上高)

- FPD・PV製造装置：大型TV向けLCD製造装置やスマートフォン向けOLED製造装置が寄与するも前年同期比減少
- 半導体・電子部品製造装置：半導体向けは前年同期比減少も、電子部品向けは堅調

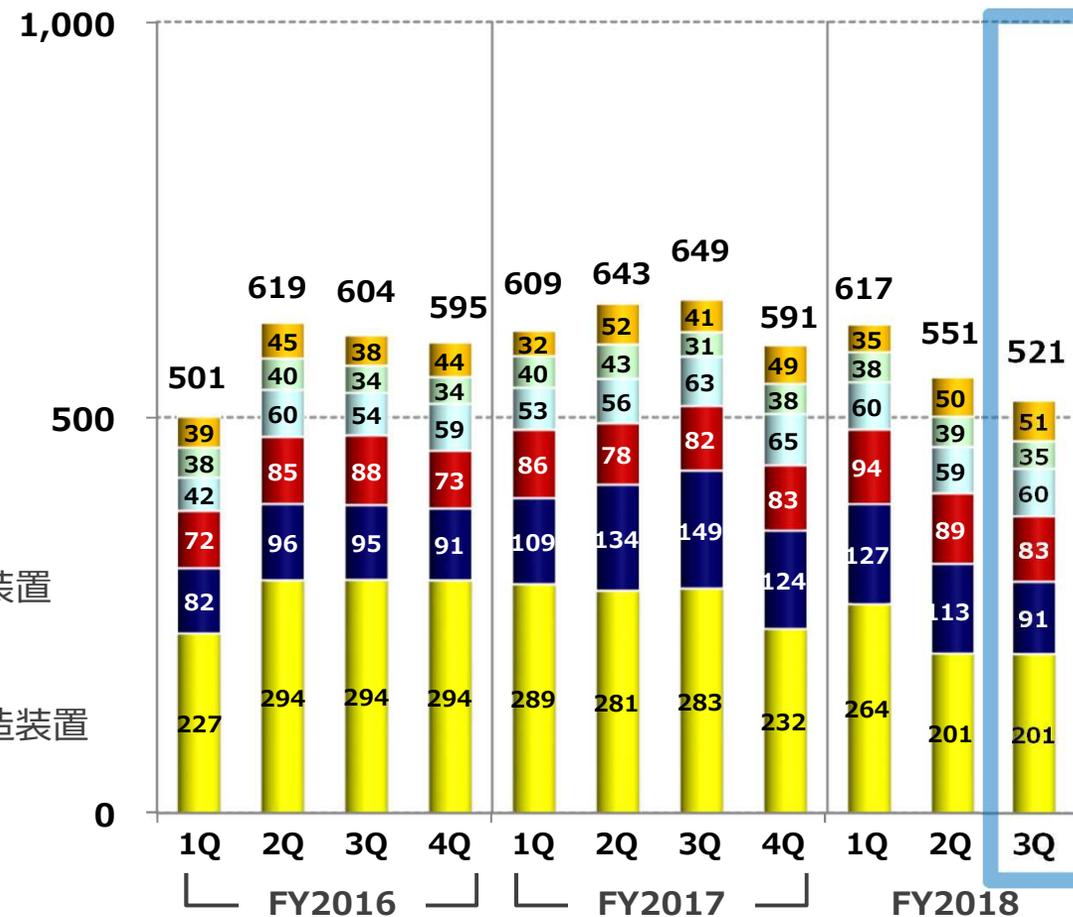
前年同期比

【単位：億円】



四半期推移

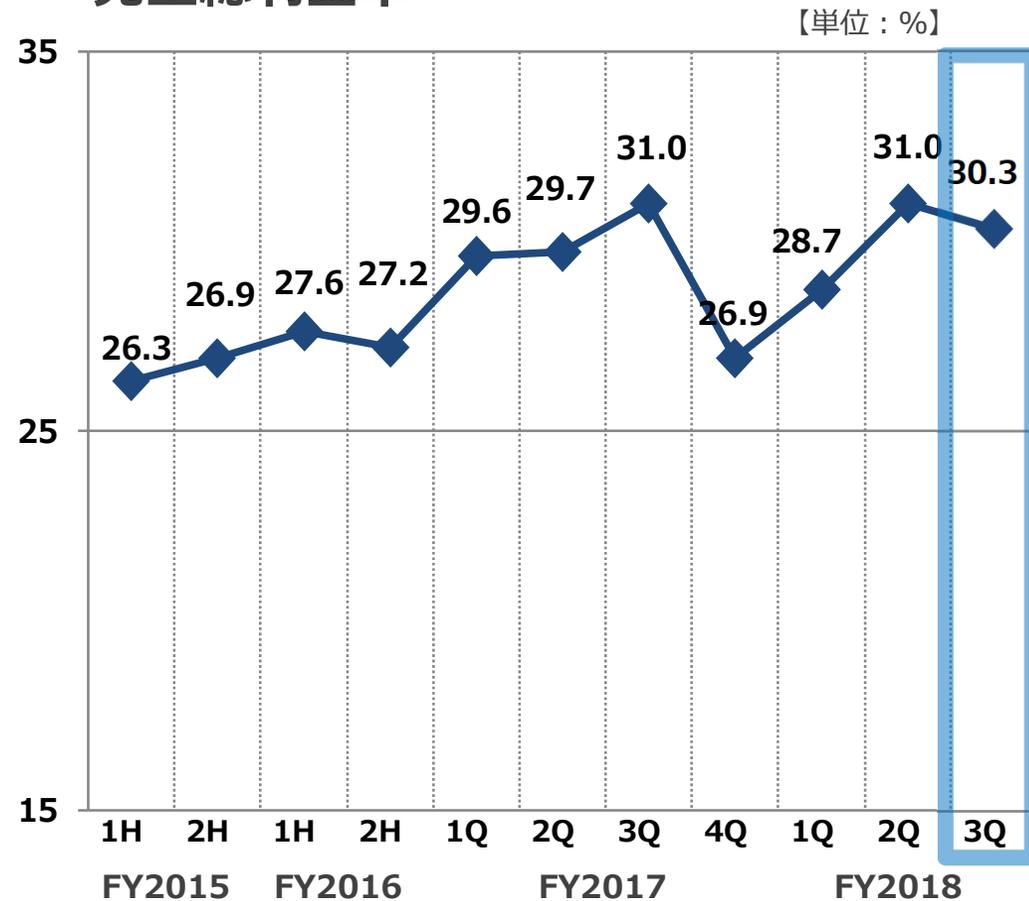
【単位：億円】



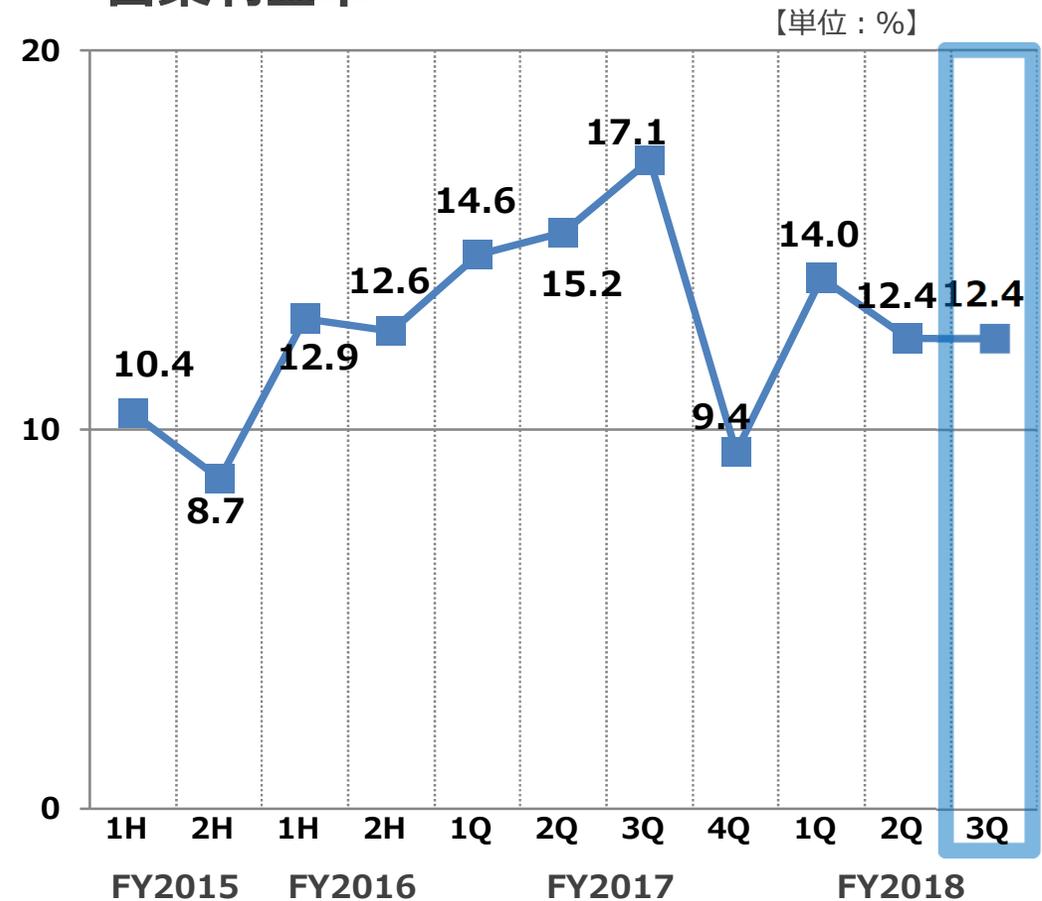
2018年度3Q(累計)連結業績概要 (利益率)

- 売上総利益率は高水準を維持、営業利益率は横ばい

売上総利益率



営業利益率

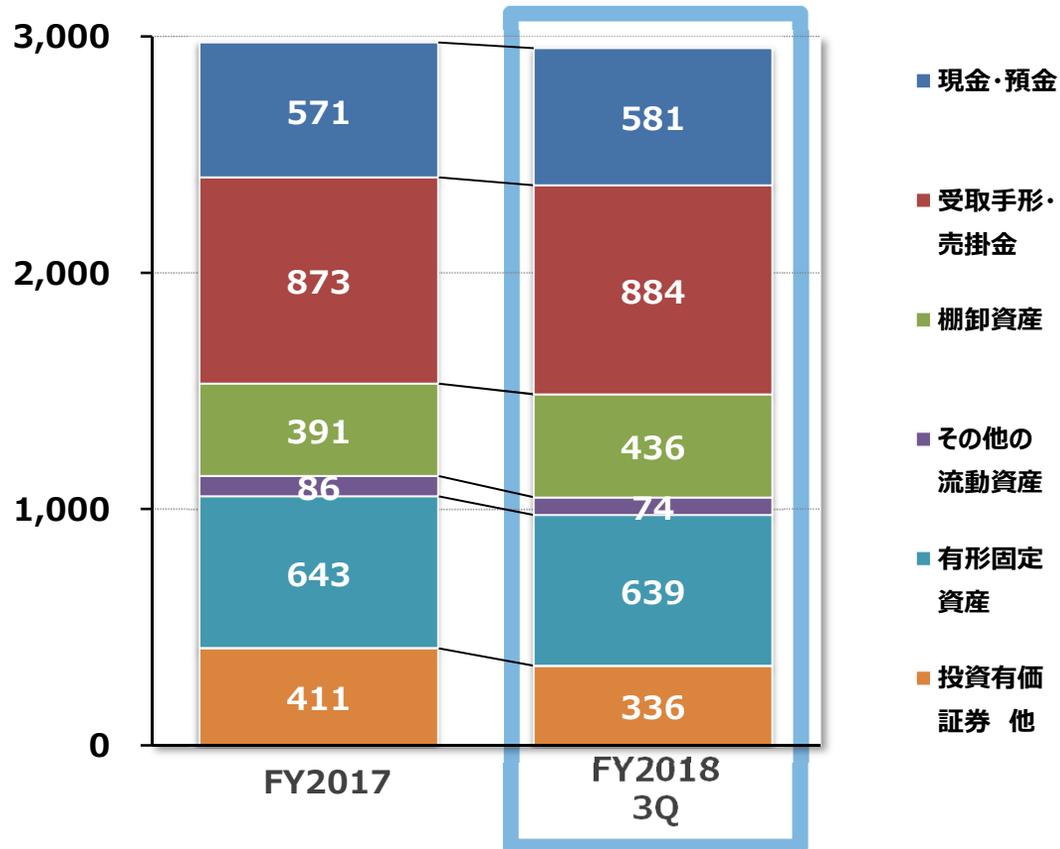


2018年度3Q(累計)連結業績概要 (連結貸借対照表)

- ・棚卸資産45億円増加、支払手形・買掛金99億円減少、有利子負債51億円増加
- ・純資産32億円増加により、自己資本比率は51.1%に改善

資産

【単位：億円】



負債・純資産

【単位：億円】



2018年度通期業績予想の修正

- ・ 3Qに投資有価証券売却益を特別利益として計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益を上方修正
- ・ 売上高や他の利益項目、期末配当予想に変更なし

【単位：億円】

	(参考) 2017年度 通期実績	2018年度		
		従来予想※	今回予想	前年同期比
受注高	2,430	2,250	2,250	-7.4%
売上高	2,493	2,250	2,250	-9.7%
営業利益	354	235	235	-33.5%
率	14.2%	10.4%	10.4%	- 3.7 pt
経常利益	369	250	250	-32.3%
率	14.8%	11.1%	11.1%	- 3.7 pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	359	160	175	-51.3%
率	14.4%	7.1%	7.8%	- 6.6 pt

修正無し

今回修正

※2019年2月13日公表値

トピックス 「健康経営優良法人2019」に認定

株式会社アルバック：

「健康経営優良法人2019（ホワイト500）」大規模法人部門に昨年に続き認定。

アルバック販売株式会社（本社 東京都港区、代表取締役社長 小出寿生）：

「健康経営優良法人2019」中小規模法人部門に認定。

体力年齢測定会やウォーキング企画、構内駅伝大会などの活動を健康保険組合と共に推進。社員一人ひとりが心身ともに健康で活気にあふれ、自らの能力を最大限に発揮できるよう、健康経営への取り組みを継続・発展させていく。



さまざまな業界・用途で貢献するアルバックの真空技術



Automobile

自動車



Semiconductor

半導体



Flat Panel Display

フラットパネルテレビ



Photovoltaic

太陽電池



Food Processing

食品



Aircraft

航空



Bio

バイオ



Smart Phone

スマートフォン



Magnetic Device

磁気デバイス



Home Appliance

家電製品



Aerospace

宇宙産業



Pharmaceutical

医療・薬剤



Wearable/VR

ウェアラブル/VR



Power Device

パワーデバイス



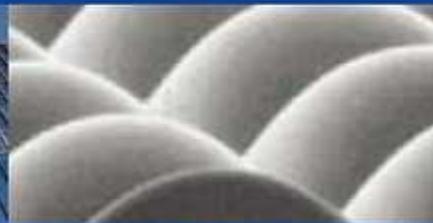
MEMS Device

MEMS デバイス



Architectural Glass

建材・スマートガラス



Optical

光学



Flexible

フレキシブル



Packaging Materials

パッケージング



Next Generation Light

次世代照明

真空テクノロジーで
「つくる」をつくる

ULVAC